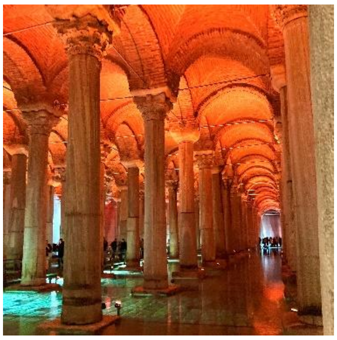
イズミル経済大学　交換留学　月例報告書（2 月）

国際文化学科　4 年　鈴木里菜

2 月は冬休み（春休み？）でかなり時間があったのでトルコの観光をしました。歴史的な建造物が多く現存し見所がとてもたくさんあり、世界史の授業などで耳にした名前や場所にも訪れることができたので感激しました。様々なトルコの歴史や自然を感じ大変貴重な経験になったので、今回はその様子を報告したいと思います。

Yerebatan Sarayi（イェレバタン・サラユ）

東ローマ帝国時代にユスティニアヌスによって建設された貯水池で、地下宮殿とも呼ばれています。この貯水池からトプカプ宮殿などイスタンブールの様々な場所に水が供給されていたそうです。幻想的な雰囲気が漂っていました。



Topkapı Sarayı（トプカプ宮殿）

「トプカプ」とは「大砲の門」という意味です。1467 にオスマン帝国のメフメト 2 世によって建設され、スルタン（王様）の家として使われていました。宝物殿もあり日本の剣や茶器も展示されていました。

Ayasofya Camii（アヤソフィア大聖堂）

東ローマ帝国の遺構の 1 つでハギアソフィアとも呼ばれています。想像以上に煌びやかな装飾で、緻密なモザイク壁画も見ることができました。モスクなのでスカーフを被って入場する必要がありました。

Sultan Ahmet Camii（スルタンアフメト・モスク）

世界で最も美しいモスクと言われ、内部の壁が青のタイルで敷き詰められていることからブルーモスクとも呼ばれています。現在は修復工事が行われており入場はできませんでしたが、外観だけでも十分美しかったです。

Troya Örenyeri（トロイ遺跡）

イリオスという神話上の伝説とされていましたが、シュリーマンによって発掘され実在した都市だと判明しました。
トロイア戦争で有名な「トロイの木馬」の大きなレプリカも設置されていました。

Efes（エフェソス）

アルテミス神殿や巨大な図書館跡など貴重な遺跡が多く残る古代都市です。公会議なども開催され重要な役割を果たした都市の1つだったそうです。古代の遺跡を間近で細部まで見ることができます。

Pamukkale（パムッカレ）

「綿の城」という意味を持つ大きな石灰棚です。このような美しい景色を生み出す自然の凄さを感じました。この地域には温泉が湧いており、石灰棚に入って足湯をするという経験もすることができました。

Rose valley（ローズバレー）

カッパドキアにある渓谷の１つで、夕焼けで岩肌が赤く染まる様子からローズバレーと呼ばれています。雪と夕日と奇岩の広大な風景は壮観でした。

Tuz Gölü（トゥズ湖）

「塩の湖」という意味で塩分濃度のとても高い湖です。この湖でトルコ国内の塩の 7 割を生産しているそうです。冬でも十分綺麗でしたが、夏に行くとより幻想的な景色を見ることができるようです。